

シラバス

授業科目	骨・関節・アレルギー・免疫疾患と薬物治療		
(英 文 名)	Pathophysiology of Bone & Articular & Allergic & Immune disorder and Drug Therapeutics		
担当教員	宇野勝次		
単位数(期別)	△2(前)	対象学生	4P

■授業のねらい・概要■

将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、アレルギー・免疫疾患、および骨・関節疾患の病態生理を理解し、それらの疾患の治療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得し、薬物治療の実施に必要な情報を自ら収集するための基本技能を身に付ける。

【C14(4)】

■授業(学習)の到達目標■

- 1 骨、関節に関する代表的な疾患を挙げることができる。
- 2 骨粗鬆症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
- 3 慢性関節リウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
- 4 変形性関節症や骨軟化症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
- 5 代表的なアレルギー疾患を挙げることができる。
- 6 アナフィラキシーショックの病態生理、適切な治療薬およびその使用上の注意について説明できる。
- 7 喘息、アトピー、花粉症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
- 8 食物・薬物・蜂アレルギーの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
- 9 代表的な自己免疫疾患を挙げることができる。
- 10 全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、シェーグレン症候群などの全身性自己免疫疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
- 11 重症筋無力症、バセドウ病、多発性硬化症、特発性血小板減少性紫斑病などの臓器特異的自己免疫疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
- 12 代表的な免疫不全症を挙げることができる。
- 13 抗体欠乏症、複合免疫不全症、食細胞機能異常症などの原発性免疫不全症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
- 14 続発性免疫不全症関連疾患である後天性免疫不全症(ADIS)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
- 15 移植に関連した病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。

■回数ごとの授業内容■

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 骨・関節関連疾患の病態(宇野) | 9 自己免疫疾患と免疫不全症の病態 |
| 2 骨粗鬆症の病態生理と薬物治療(宇野) | (宇野) |

シラバス

- | | |
|------------------------------|---------------------------------|
| 3 慢性関節リウマチの病態生理と薬物治療（宇野） | 10 全身性自己免疫疾患の病態生理と薬物治療（宇野） |
| 4 変形性関節症・骨軟化症の病態生理と薬物治療（宇野） | 11 臓器特異的自己免疫疾患の病態生理と薬物治療（宇野） |
| 5 アレルギー疾患の病態（宇野） | 12 原発性免疫不全症の病態生理と薬物治療（宇野） |
| 6 アナフィラキシーショックの病態生理と薬物治療（宇野） | 13 後天性免疫不全症（ADIS）の病態生理と薬物治療（宇野） |
| 7 喘息・アトピー・花粉症の病態生理と薬物治療（宇野） | 14 移植免疫の病態生理と薬物治療（宇野） |
| 8 食物・薬物・蜂アレルギーの病態生理と薬物治療（宇野） | 15 定期試験（宇野） |

■成績評価の方法・基準■

臨時試験並びに定期試験の成績によって評価する。

■使用テキスト■

講義にはプリントを配布する。

■参 考 書■

スタンダード薬学シリーズ6 生物系薬学 II.薬物治療（1）/日本薬学会編/東京化学同人薬局増刊号 病気と薬 パーフェクト BOOK 2008/監修・池田宇一・大越教夫・横田千津子/南山堂

疾患と薬物治療薬・改訂第5版/編集・大内尉義・伊賀立二/南江堂など

オフィス・アワー	月曜日～土曜日：随時
(授業内容等の質問・相談日)	